症例 1

出題者:公立西知多総合病院

服部 聡

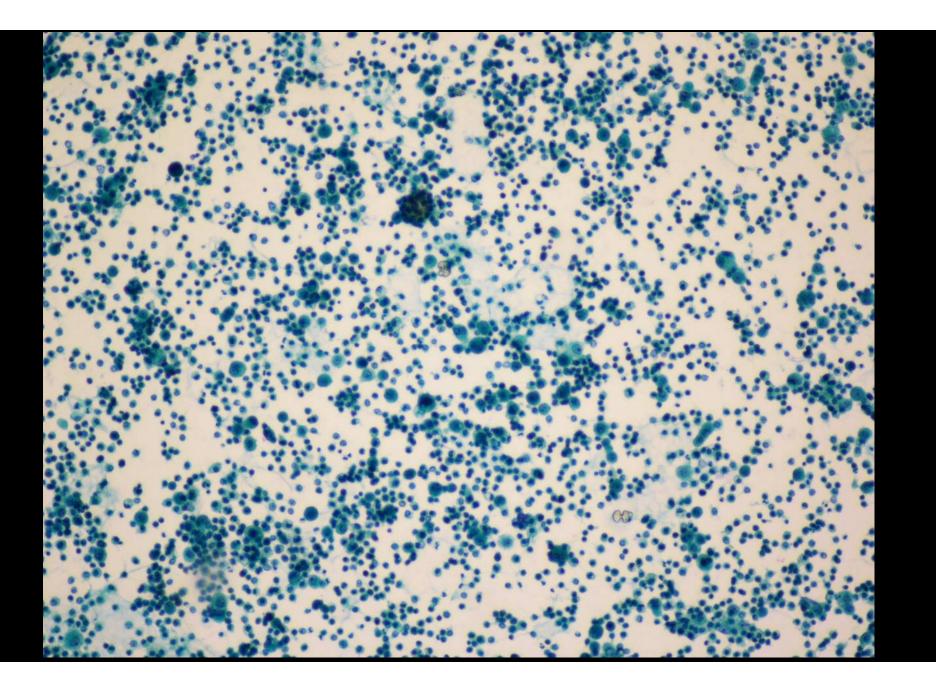
• 症例: 60歳代 男性

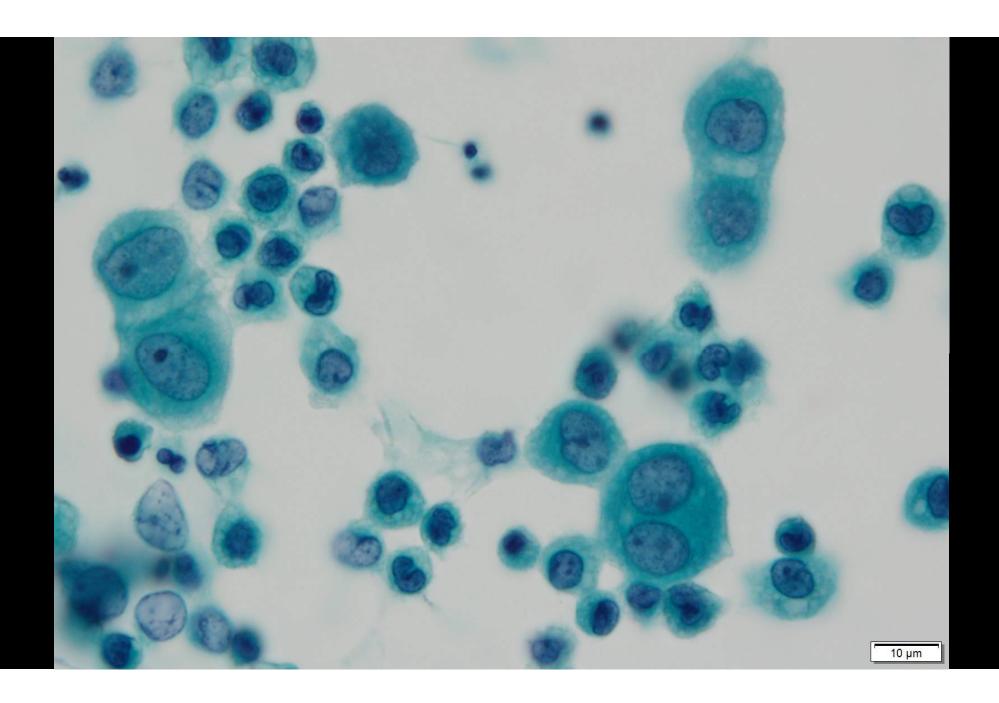
臨床経過: 鼠径ヘルニア術後の膀胱留置カテーテル抜去時より

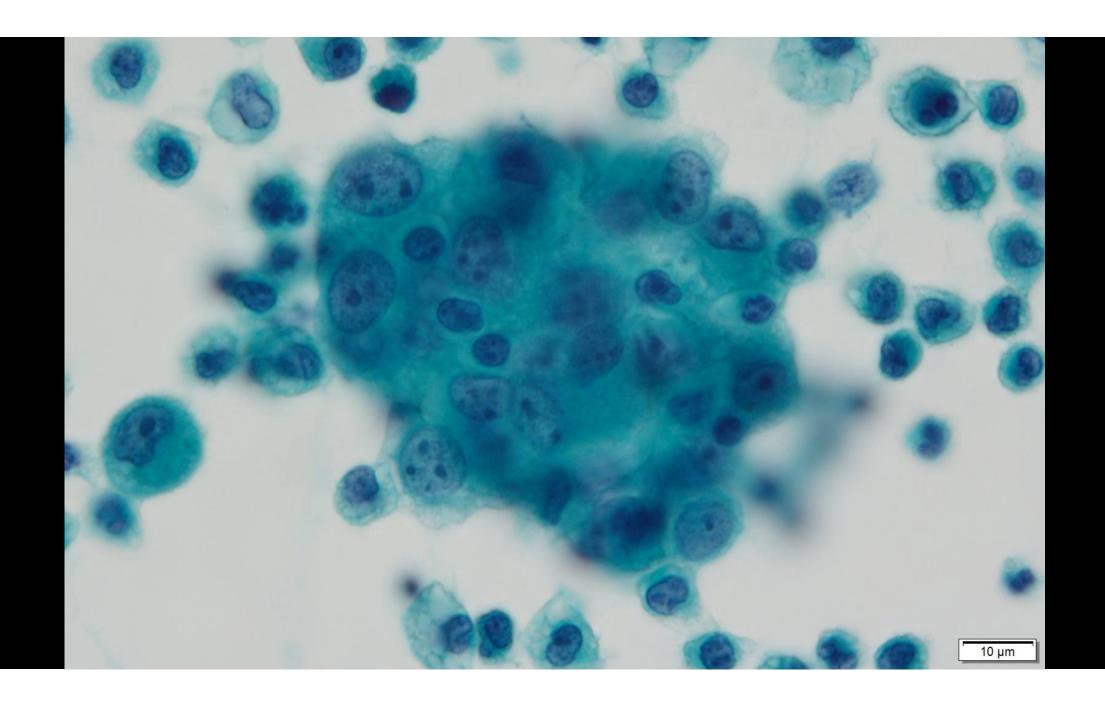
排尿障害、残尿感、腹部膨満感を認めた。

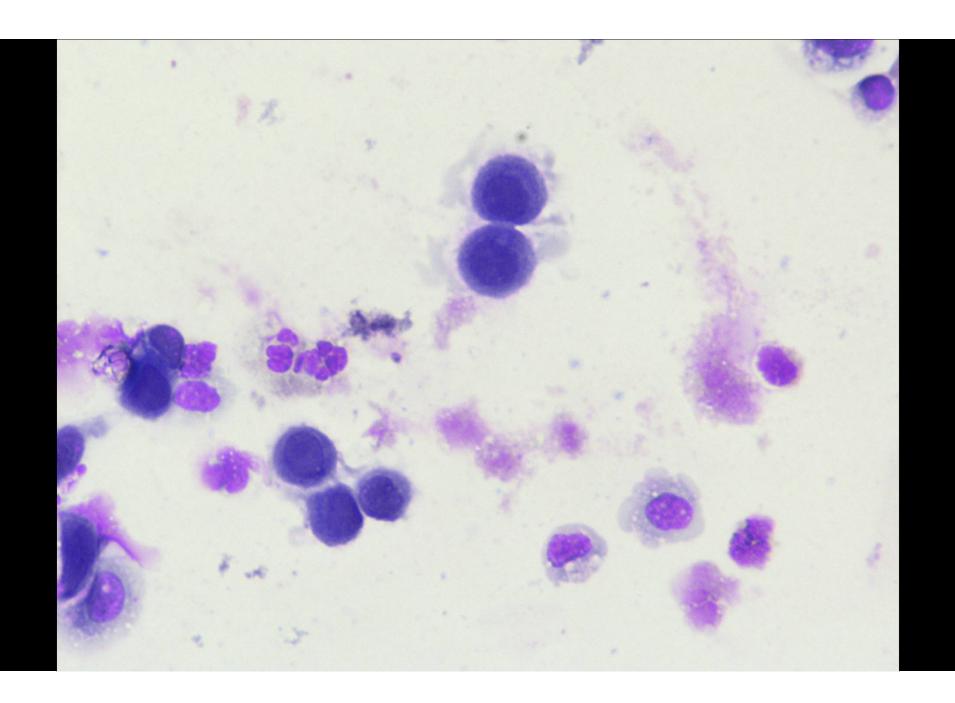
術後5日目、肉眼的血尿認めた。

材料: 自然尿 オートスメア処理









解答選択肢

- ① 陰性・良性
- ② 異型細胞
- ③ 悪性疑い
- ④ 悪性

推定病変選択肢

- ① 尿路上皮癌(HGUC)
- 2 腺癌
- ③ 扁平上皮癌
- ④ 尿路上皮細胞
- ⑤ 中皮細胞

症例 2

出題者:大阪労災病院

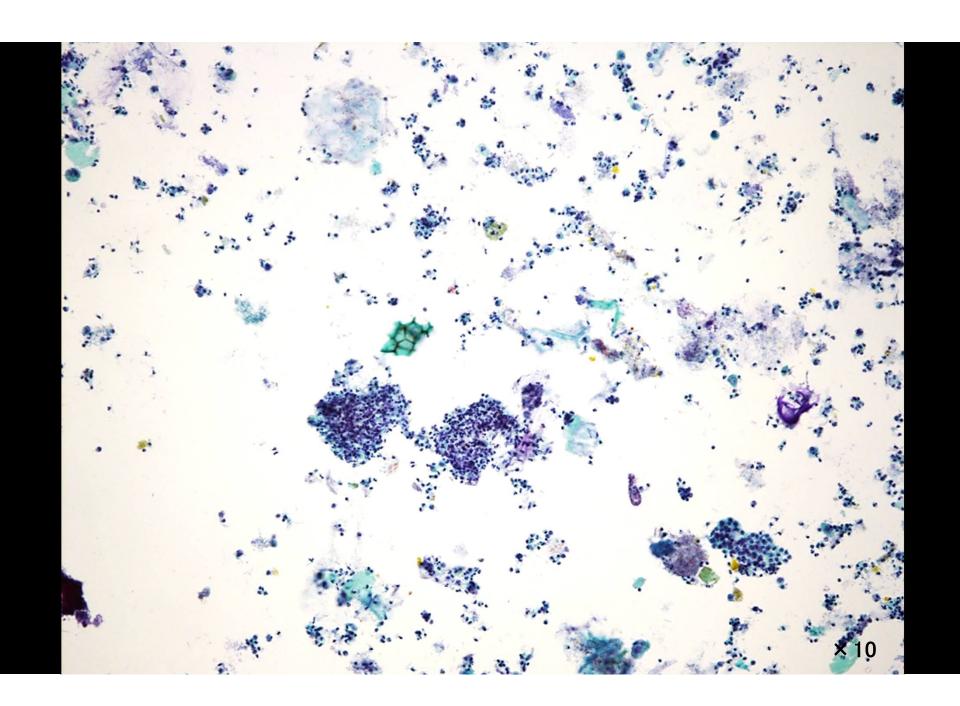
三村 明弘

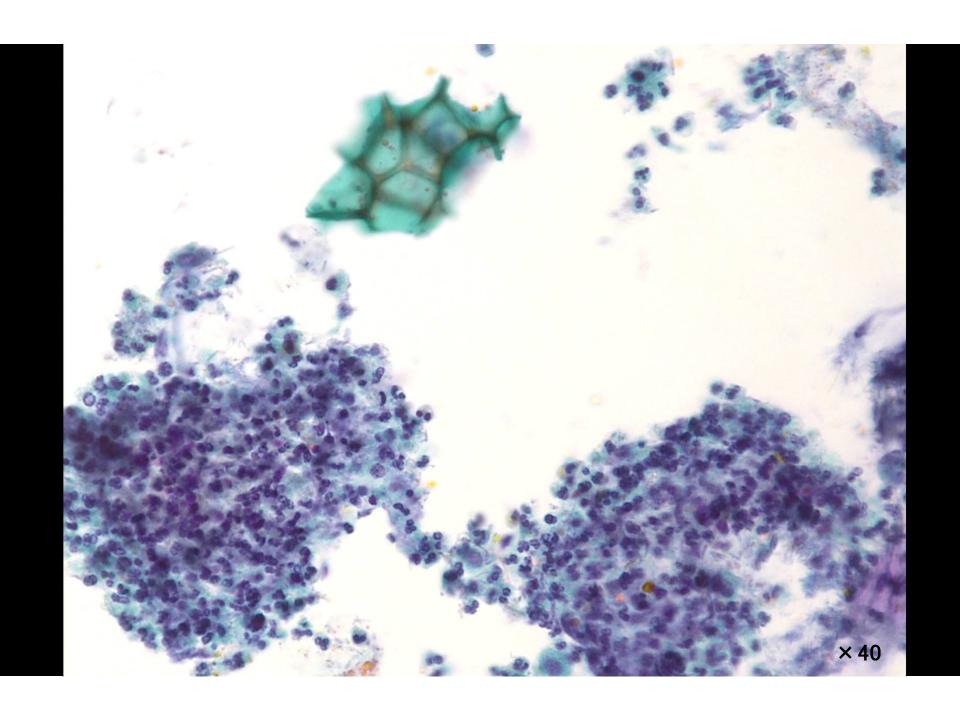
• 症例: 60歳代:男性

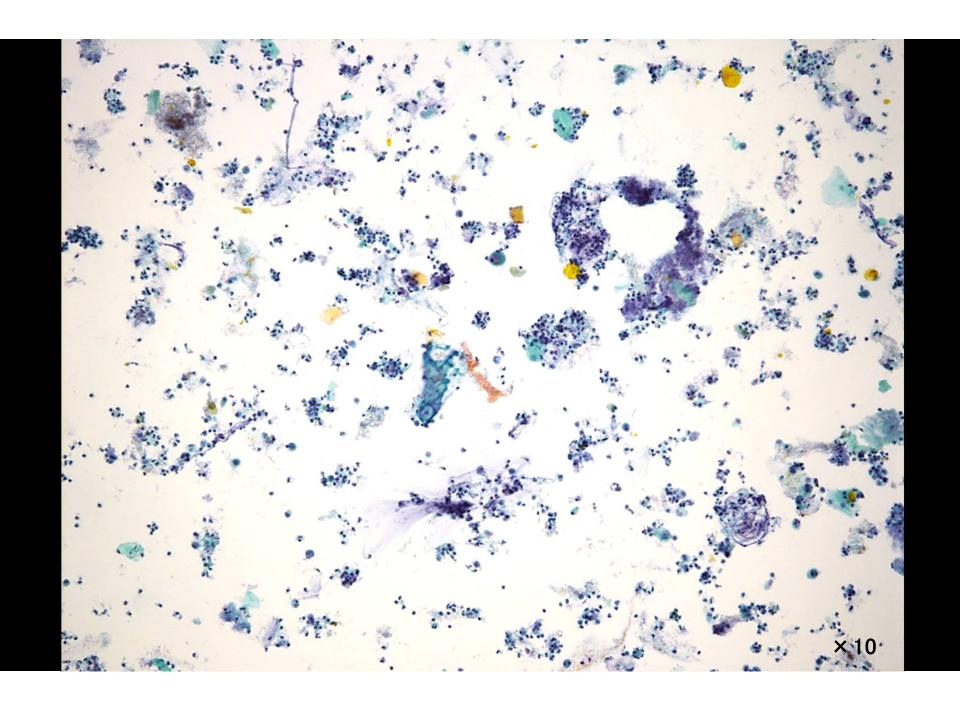
• 主訴: 排尿痛・抗生剤投与で緩和するも持続

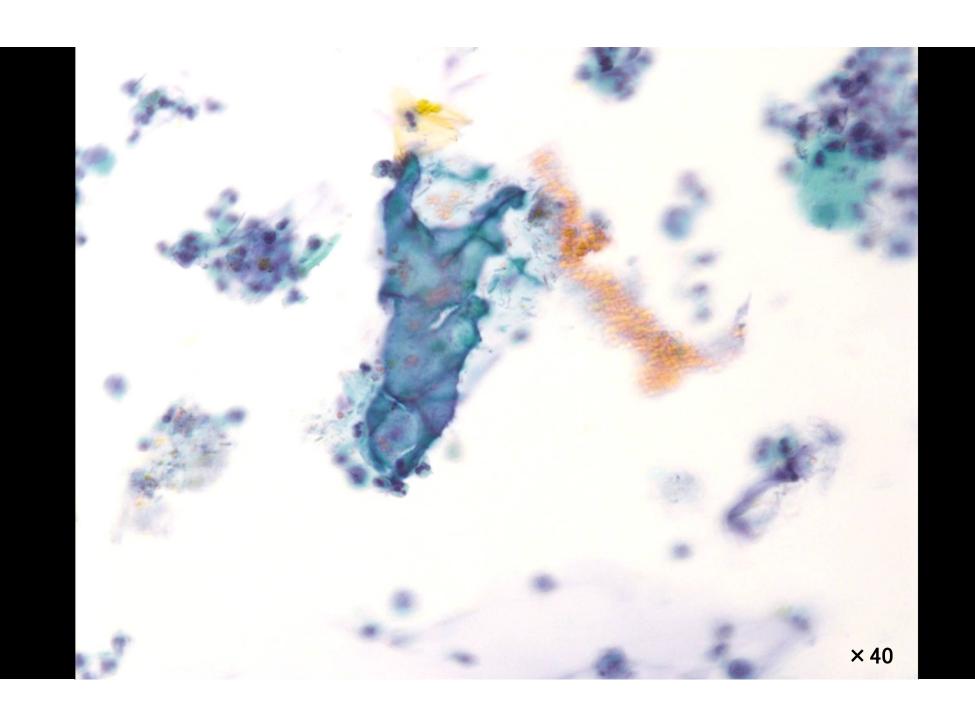
• 膀胱鏡所見:後壁から三角部にかけて隆起性病変を認める。

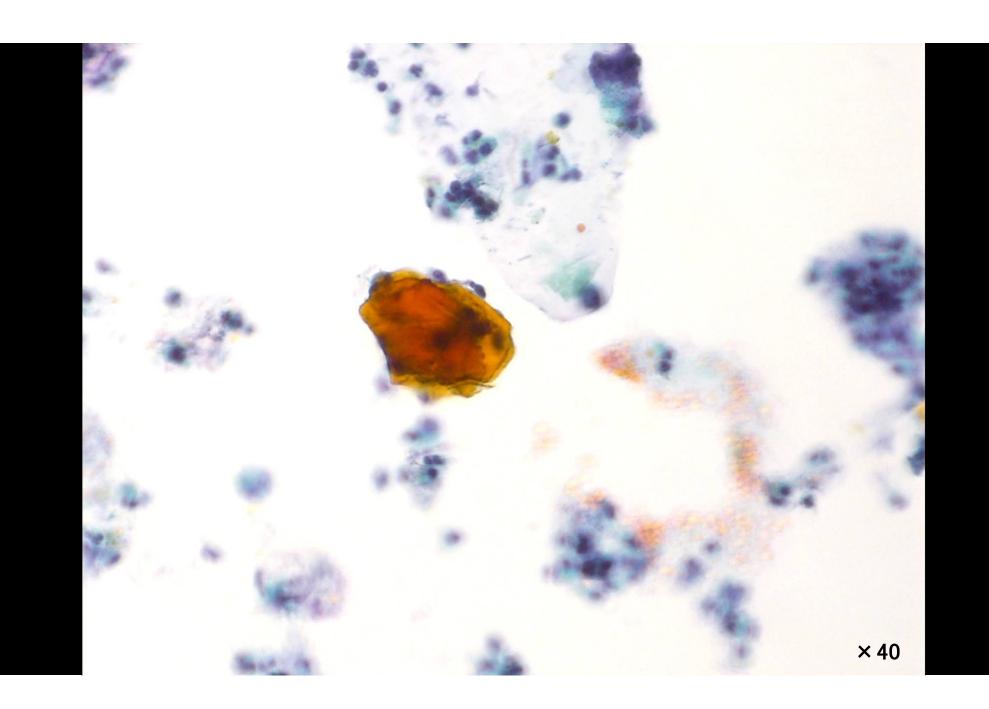
• 材料: 自然尿 LBC(CellPrep)法











解答選択肢

- ①陰性
- ②異型細胞
- ③悪性疑い
- ④悪性

推定病変選択肢

①良性:膀胱炎

②良性:膀胱直腸瘻による便の混入

- ③ 良悪鑑別困難
- 4 異型扁平上皮細胞
- ⑤扁平上皮癌

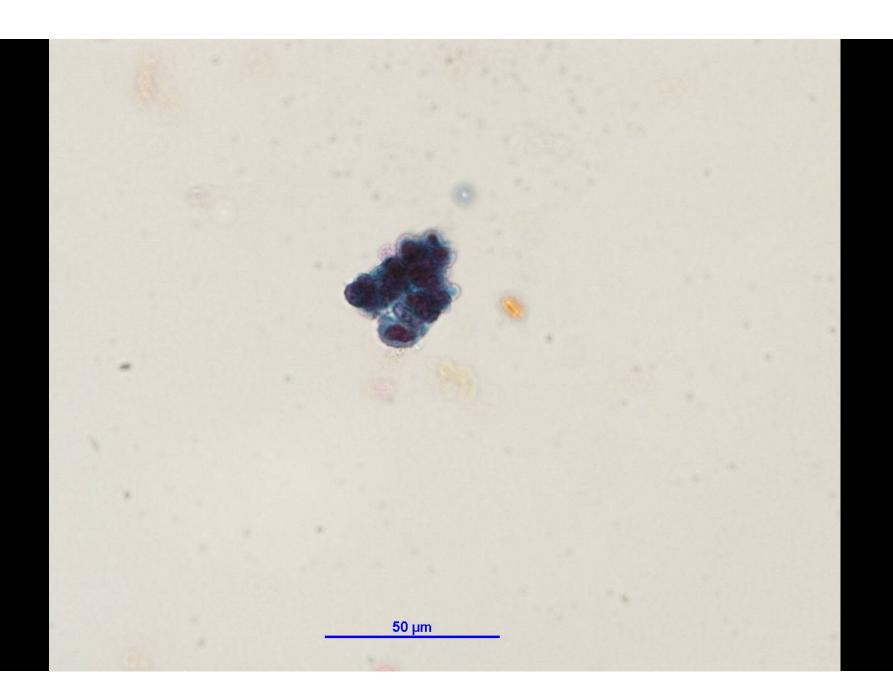
症例 3

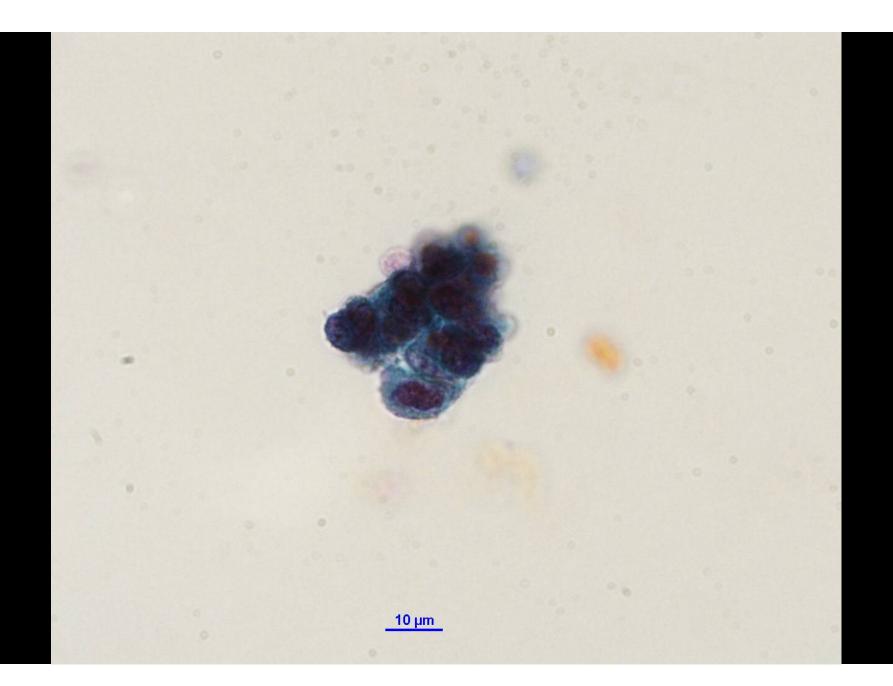
出題者:LSIメディエンス 是松 元子

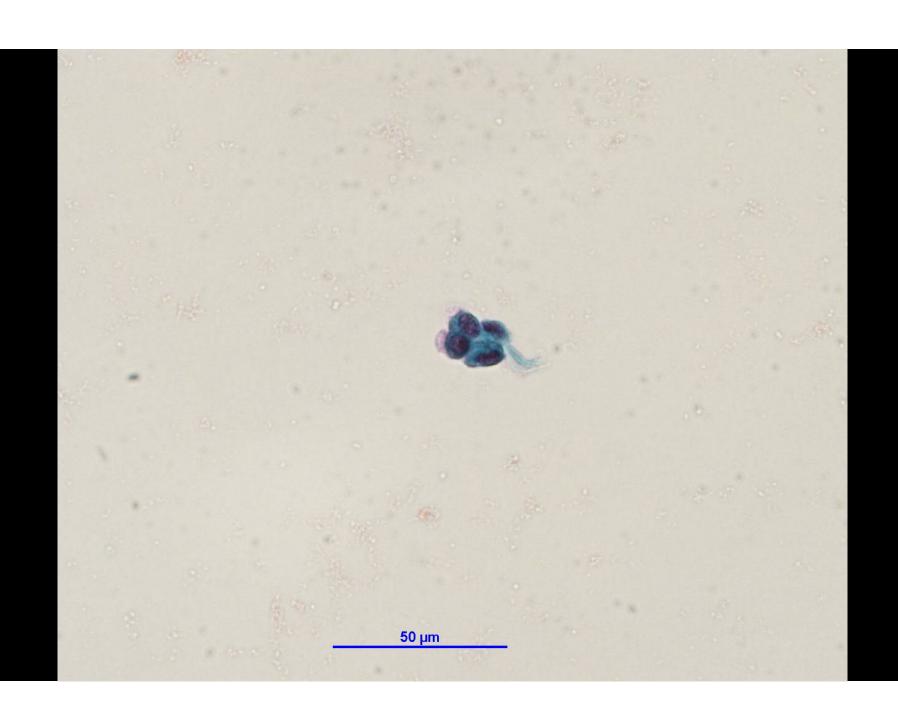
• 症例: 70 歳代 男性

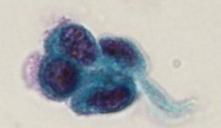
• 主訴: 血尿

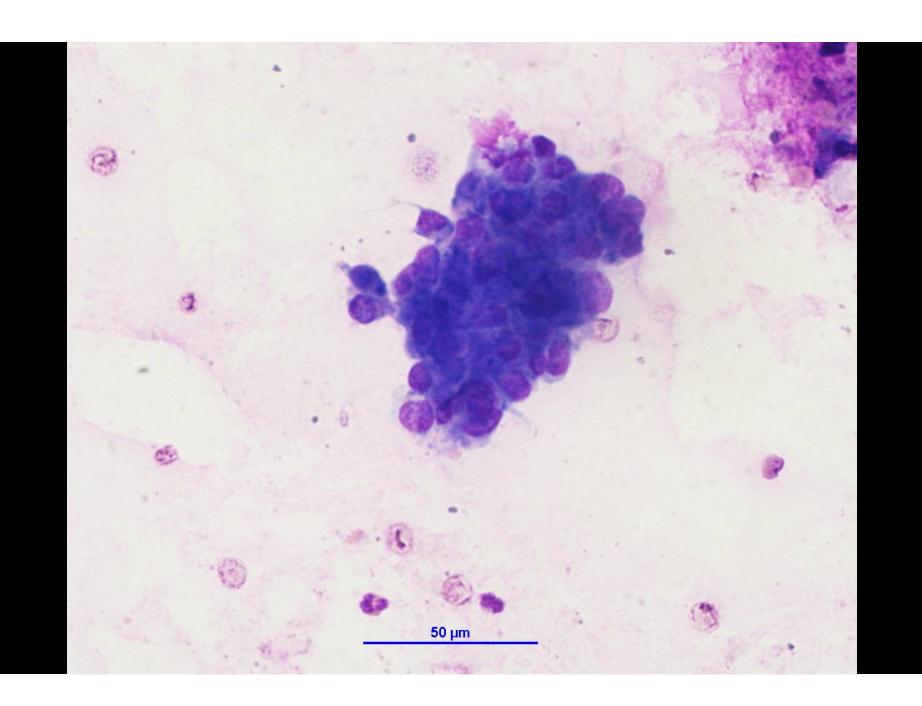
• 材料: 自然尿 直接塗抹(オートスメア)

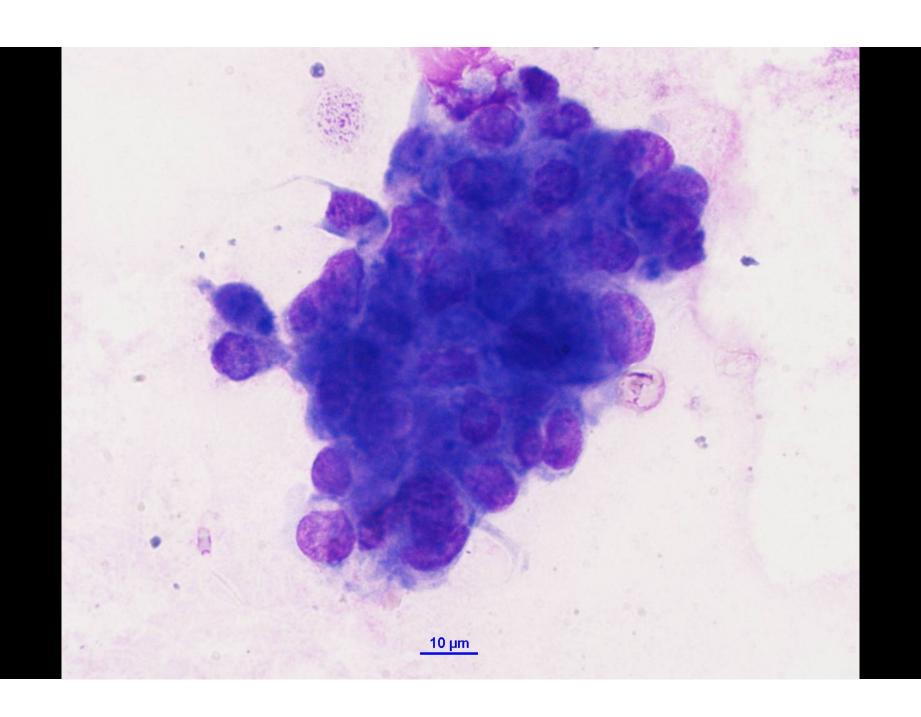


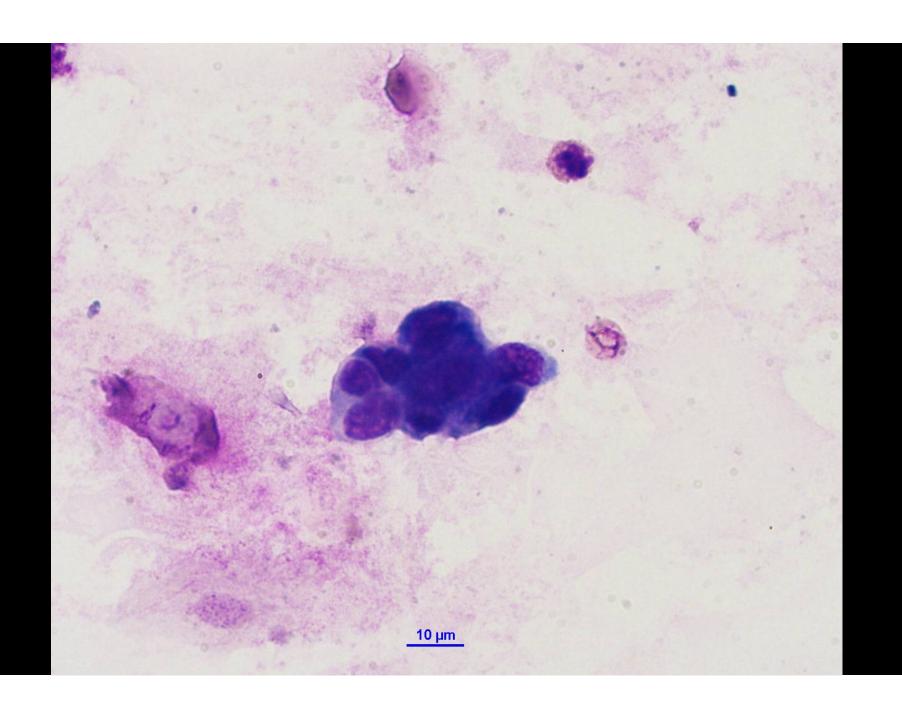












解答選択肢

- ①陰性
- ②異型細胞
- ③悪性疑い
- ④悪性

推定病変選択肢

- ① 良性尿路上皮細胞
- ② 反応性尿細管上皮細胞
- ③ 異形成由来の細胞
- ④ 低異型度尿路上皮癌
- ⑤ 高異型度尿路上皮癌